

あみだどう  
今回は… **【阿弥陀堂】** に関する図書をご紹介します

阿弥陀堂とは… 阿弥陀如来を本尊とする堂やそれを含む院(阿弥陀院)。  
阿弥陀堂という形式が成立し隆盛となるのは、末法思想を背景として浄土信仰が高まった  
平安時代中ごろからで、大小各種の規模の堂が建立された。

『世界大百科事典』1巻(平凡社)p458“阿弥陀堂”の項より

◆『平安末期の広大な浄土世界 鳥羽離宮跡』(鈴木 久男/著 新泉社)  
請求記号 L/210. 38/ス

平安時代には極楽浄土を求め多数の阿弥陀堂が建立されました。その中でも、この本  
では鳥羽離宮を主題に取り上げ、造営の時代背景や、現代における離宮跡の発掘調査  
についてまとめられています。



◆『京都・奈良古寺めぐり案内 カラー版』(古寺巡礼研究会/著 洋泉社)  
請求記号 L/185. 9/キ

阿弥陀堂をもつ清水寺、知恩院、平等院をはじめ、京都・奈良にある67の寺院が紹  
介されている本です。各寺院の説明文とともに、カラー写真や簡単な地図が掲載され  
ています。

◆『平等院鳳凰堂 現世と浄土のあいだ』(富島 義幸/著 吉川弘文館)  
請求記号 L/702. 1/ト

藤原頼通が創建した平等院。鳳凰堂の名で呼ばれる阿弥陀堂は、極楽浄土を表現したと  
されます。この本では、その鳳凰堂について、建築、庭園、絵画や信仰など、幅広い観点  
から論じられています。



◆『古寺巡礼京都 2 浄瑠璃寺 新版』(淡交社)  
請求記号 L/185. 9/コ/2

九体阿弥陀堂が当時のまま唯一現存する浄瑠璃寺の歴史や、庭園の解説、地図  
や年表が掲載されています。豊富なカラー写真もあり、浄瑠璃寺を広く知ることがで  
きる本です。

このほかにも、関連する図書を所蔵しています。  
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。  
貸出・閲覧や、調べ物のおてつだいをご希望のかたは、  
中央図書館 2階・参考図書室へおこしください。